

一般質問

町政を問う

永井 正之議員



Q 猟期外における耕作地での猟犬使用は

町長 今後、猟友会と協議をした
いと考えております。

議員 「猿追い隊」の今後の継続
は。

町長 新年度の早い時期に継続で
きるように考えています。

議員 電牧棚は、大変効果がある
が、今後「シカよけフェンス」に
変わっていくのでは。

課長 今後もこの事業を進めてい
きたいと思えます。

議員 設置については、地域で行
い、苦労は大変なものである。地
元負担金の軽減はできないのか。

町長 設置が1ヶ所という状況の
為、今後の様子を見て地域とも相
談し、負担軽減に努めていきたい
と思えます。

議員 国や県に働きかけてはどう
か。

町長 猟犬の解放についての難し
さは重々承知しておりますので、
今後、皆様の提案や理解を経て県
特有の対策を講じていたただける
か県や国に提案したい。

Q 公約における耕作放棄
地問題は

町長 新規就農者には、退職帰農
者も含め補助制度の設け、弾力的
に進めたい。そして、農業委員会
や地域の農業者と相談した上、議
会のご理解をいただければと思っ
ております。

Q 「日本サル」の駆除を
銃器使用で出来ないか

課長 住宅周辺の為、事故が起き
る可能性や猟友会による有害鳥獣
対策に、影響があるので、現在実
施しておりません。

島崎 紘一議員



Q 町長の所信について

議員 通算三期向こう四年間どう
取り組むのか。

町長 町発展と町民生活の安定に
向けてこれまでの経験を生かし議
会の御理解を得ながら公約実現を
目指して進めていきたい。

議員 平成十四年初当選以来十年
間で人口は2410人も減少して
いる。過疎対策も実績として現れ
ていない。公約として何を提案さ
れたのか。

町長 選挙中五つの提案を示して
きた。まず、災害に強い安全安心
な町づくり、高齢者、障害者、子
どもが元気な町づくり、新エネル
ギー対策、地域ブランドと世界遺
産、ジオパークを生かした町づく
り。公共施設の有効活用と効率の
良い財政健全化で信頼される町づ
くりに向かって取り組んでいき
たい。

Q 公約の具体策について

議員 新築住宅、リフォームの補
助制度創設とあるが条例整備、予
算化はいつか。

町長 地場産業活用を目指して早
い時期に詰めていきたい。

議員 青少年合宿所整備の内容は。
町長 練馬区と防災協定を結ん
でいる関係の一端としてジオパー
ク見学等々に大勢の小学生が訪れ
ている。今後グラウンドの跡地利
用としてサッカーの練習場として
誘致を図り、それには宿泊施設が
セットのようなので学校の跡地利
用として改築等を進めていきたい。

議員 0〜2歳児の子育て保育支
援とは何か。

町長 保健センター内の社会福祉
協議会の移転計画が実現させれば
そのスペースを活用し、児童館的
な施設の設置を予定している。

Q スポーツ、文化活動の
参加促進について

議員 下小校庭で少年野球の練習
を夜間車のライトで行っている。照
明施設の設置をすべきではないか。

教育課長 保護者の方が自費でLED
照明をつけるという話しもき
ております。

議員 文化、スポーツの参加促進
も公約の一つ見解は。

町長 総合小学校の計画になかつ
たが今後の検討課題といたします。
議員 近隣市町村で公民館使用が
有料なのは下仁田町だけ、無料に
すべきでは。

町長 担当課と詰めて意見を十分
承知の上で平成25年度予算内で提
案いきたい。

議員 文化ホール、公民館トイレ
の洋式化について。

町長 文化ホールの要望は承知し
ております。公民館についても改
善の方向で考えて行きます。

Q 地域力を発揮し、観光
立町で町おこしとは

議員 4年前の公約「下仁田宿プ
ラン」の実現とあつたがその実績は。
町長 葱と蒟蒻ジオパークそれと
世界遺産を目指す関連施設等々、
12月1日実施のねぎ祭りには6千
人を超える集客を図れ内外に発信
できた。全国ねぎサミットも開催し
ていきたい。それらを大きな目玉と
して観光立町を立ち上げ、下仁田
宿プランはその総称と思っている。

議員 観光協会の充実とは。

町長 地域力を高める為に観光協
会に役割はますます重要だ。総合
案内的な観光拠点として充実させ
たい。

議員 協会も補助金交付団体であ
り、独自性の発揮するには町長が会
長である事については検討されたい。